

ある一つの情景の話をします。この情景には、本当の仏教の教えのすべてが含まれています。

その絵のまん中にあなたがいます。場所は海、大海原です。その海は、時には、嵐になって荒れることもあります。風が強くて波が高い時もあります。でも、穏やかな時の方が多いです。その海にあなたは浮かんでいるのです。何もしなければなぜか浮かんでいられるのです。何もしなければなぜか浮かんでおられるのです。

雨が降ってずぶ濡れになることもあります、もともと体の半分以上は海の中です。

ある時、遠くの方から声が聞こえてきます。どちらの方から声が来るのかわかりませんが、その声は聞こえてきます。

「この海原を渡りきった所に、向こう岸があるぞー。この海原を渡りなさいー。」

この声が聞こえてきても、別に何のことかわかりませんし、何も感じません。

長い長い時間が過ぎていきます。

数え切れない程、声を聞いても、何も感じなかったのですが、ある時、ふとその声が気になってきました。

「この世界は海ばかりと思っていたが、向こう岸、海の果て、海じゃないところがあるのか。いけるのであれば行ってみたいなあ。」
そう思うと、

また、声が聞こえました。

今日のお話はここまでです。たったこれだけの情景の中にすべての仏教の教えがはいっています。

続きはいつでもお話します。